

あなたの感性は「景観」に育てられた

景観基本計画策定委員会 杉山朗子委員
(株式会社日本カラーデザイン研究所)の
レクチャーより

景観の中に潜む色は、知らず知らずのうちに、みなさんの感覚そして感性に影響を与えています。しかし、色彩は記憶には残りにくく、しばしば勝手に書き換えられてしまうものでもあります。ところが、そんな意識にも上らない色がひとに影響を与えているのです。

ひとが好んだり快適だと感じる色には「育った環境」が大変影響を及ぼしています。

雪国で育ったひとは、雪の白や雪にあたった陽の光や影の色に敏感です。海で育った人は、色の違いで潮の流れも読み取れます。

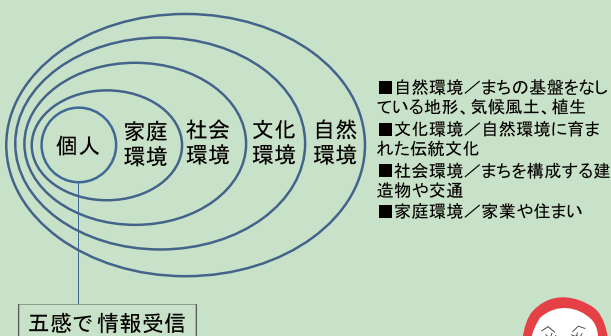
ひとは毎日見ている色には詳しくなり、色から様々な情報を読み取って利用しているわけです。

舗装されていない道を知っている世代は、土や泥の感触は懐かしくほっとするものであったりします。世代による違いが生まれてくるのは、まちの変化に伴って、見てきたもの、触ってきたものの違いがあるからです。

まちの景観の色は、これまでの生活で培ってきた結果として、今ここにあります。

その色があなたの感性を育て、これからの子どもたちの感性を育てていくのです。

ひとは自分を取り巻く環境、生活景観から
情報を得て感性を形成していきます



これから育てていく子どもたちのためにも、まちの景観の色をもう一度注意深く観察し、改善できるところは、早急に対応していきたいですね！



お知らせ

調布市景観基本計画(素案)についての パブリック・コメントを実施しました。

合計86件のご意見をいただき、ありがとうございました。

いただいたご意見は、調布市景観基本計画の検討にあたって、参考にさせていただきます。

ご意見などの概要とそれに対する市の考え方については、市のホームページ、及び都市計画課で閲覧できますので、ご覧ください。

ホームページ URL <http://www.city.chofu.tokyo.jp/>



調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせをしています。

発行 調布市都市整備部 都市計画課 都市計画係

Tel : 042-481-7453 Fax : 042-481-6800 mail : tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

ちょうふ 景観 だより

第6号

平成24年4月6日発行



第5回調布市景観基本計画策定委員会を

開催しました。

第5回調布市景観基本計画策定委員会を、平成24年3月28日(水)に開催しました。当日は、11名の委員の方にご出席いただき、パブリック・コメントでいただいた市民の方のご意見を踏まえながら、調布市景観基本計画について議論いただきました。

■策定委員会での主な議論(抜粋)

- ・パブリック・コメントは建設的な意見が多く、それらの意見などを反映した基本計画(案)となっている。
- ・好ましくない景観や規制すべき景観についての視点も大切であり、今後の景観施策の検討にあたっては考えていく必要がある。
- ・景観の良し悪しの判断は、市民が決めるものである。今後の景観施策の展開にあたっては市民参加の促進が大切である。 など

今号の目次

- 第5回調布市景観基本計画策定委員会を開催しました。(1ページ)
- 調布市景観基本計画を策定しました。(2～3ページ)
- あなたの感性は「景観」に育てられた(4ページ)
- パブリック・コメントを実施しました。(4ページ)

調布市景観基本計画を策定しました。

市民検討会や策定委員会で議論を重ね、パブリック・コメントなどを経て、調布市景観基本計画が策定されました。

調布市景観基本計画は、どんな目的で計画するの？



個性的で魅力あふれる調布らしい景観づくりのためには、まず、みんなが景観に対して関心を持ち、次に、どのように景観づくりを進めていくのかの目標を共有し、そして、それぞれの役割を考えながら、実際に行動することが大切です。

そのため、調布市では、市における景観づくりの基本的な考え方として、「調布市景観基本計画」を定めます。

(景観基本計画策定の背景と目的 P 1 ※)

景観ってどう考えるの？



- 多様な価値観も含めて『景観』とします。
- 市民が日常的に眺める身近な『景観』をはぐくみます。
- 地域固有の景観資源の価値を共有し『景観』を熟成します。
- 市民の表情が『景観』の表情になります。

(計画における景観の捉え方 P 2 ※)

調布にはどんな景観があるの？



- 崖線などの地形が生み出す多様な景観
 - 東西に横切る街道沿いに発展したまちの景観
 - 歴史文化資源がまちの物語を感じさせる景観
 - 立地環境や時期の違いにより多様な住宅地の景観
 - 地域コミュニティ、人のきづかいなどを感じる温かみある景観
- の5つの区分に整理しました。

(景観特性 P 9～P 35 ※)



いまどんな課題があるの？



- 崖線緑地の保全、崖線・河川周辺の景観誘導など
- 中心市街地の新たな景観形成、放置自転車問題の改善、屋外広告物の規制誘導など
- 宅地開発、大規模開発、大規模団地再生などの望ましいあり方など
- 歴史文化資源の活用、田園風景の保全など
- 市民活動の支援、景観学習の場の提供、景観づくりの担い手育成など

(景観課題 P 36～P 37 ※)

この計画の基本的な目標は？



基本目標 ～景観まちづくりの目標～

「人と自然が織りなす
ほっとする暮らしがみえるまち 調布」

(景観まちづくりの基本目標と基本的な考え方 P 38～P 39 ※)



目標実現に向けてどう取り組むの？



- まちの骨格を際立たせる自然環境の景観価値の向上
- 市民生活を支える基盤となる都市施設の魅力的な景観の形成
- 地域の歴史文化を感じさせる景観の熟成
- 地域コミュニティの存在を感じるほっとする暮らしの景観の育成
- 市民のいきいきとした活動がまちの表情を豊かにする景観まちづくり

(景観まちづくりの基本方針 P 40～P 56 ※)

この計画をどのように実現していくの？



- 景観行政団体への移行、景観計画の策定、景観条例の制定
 - 関連施策と連携した景観形成の推進
 - 景観形成の推進組織・体制づくり
- (総合的な景観施策の展開 P 58 ※)
- 景観に関する市民活動の広報と情報提供
 - 景観シンポジウムやワークショップイベントの開催
 - 景観学習の推進によるまちづくり活動のリーダーとなる人材の育成
 - 子どもたちに対する景観学習の充実
- (景観学習の充実による担い手の育成 P 59 ※)
- 景観要素ごとの具体的な推進方策
- 身近な生活空間／住宅地、大規模開発、崖線、水辺空間、道路空間、駅前／商店街、都市農地、歴史文化資源、公園・緑地、公共公益施設
- (景観まちづくりの具体的な推進方策 P 60～P 69 ※)

※調布市景観基本計画の対応ページ数を表す。



市民検討会や策定委員会、パブリック・コメントでいただいた意見を反映した調布市景観基本計画ができました！

詳しい内容は、ホームページや窓口をご覧ください。
来年度は、この基本計画をもとに調布市景観計画を作成していきます。みなさんのご協力をこれからもよろしくお願いします。

